

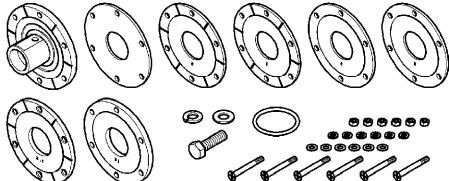
# CDW二条切アタッチメント 取扱説明書

## 【1】ご使用前に

この製品「CDW二条切アタッチメント」は、「ウォールカッター」と組合せて使用します。同時に2本の切り溝を入れ、切り溝間のコンクリートを破碎することで容易に深溝の施工が可能となります。本書および「ウォールカッター」の取扱説明書をよく読み、「警告および注意」に従い正しくご使用ください。

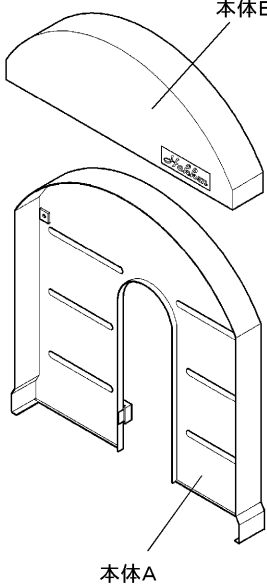
## 【2】梱包内容

CDW二条切フランジセット



名称	規格・寸法	個数
ブレード受け	—	1
スペーサ	3mm黒	1
	5mm	2
	5mm溝	2
	7.5mm溝	1
	10mm	1
15mm	1	
Oリング	P-65	1
六角ボルト(11T)	M16×55	1
ばね座金	16	1
平座金	16	1
皿ボルト	M8×70	6
ばね座金	8	6
平座金	8	6
六角ナット	M8	6
取扱説明書	—	1

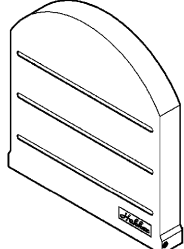
二条切ブレード半カバー【別売】



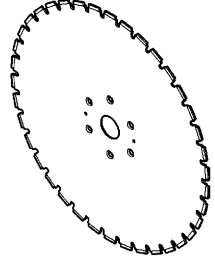
本体B

本体A

二条切ブレード全カバー【別売】



CDW二条切消音ブレード【別売】



## 【3】警告および注意

### ⚠ 警告

- ブレード半カバーを使用して切断を行うときは、周囲に危険が及ばないよう対策を行ってください。
  - ◎ ブレード半カバーは、片面が開いた状態なので非常に危険です。壁際切断以外には絶対に使用しないでください。
  - ◎ 切断中はダイヤモンドブレードのチップなどが割れて飛散することがありますので、周囲に危険が及ばないよう、防護板を設置するなどの対策を行ってください。

### ⚠ 注意

- ダイヤモンドブレードは、3枚以上取付けしないでください。
  - ◎ ダイヤモンドブレードは2枚まで取付けられます。それ以上取付けると、機械に負担がかかり故障の原因になります。
- 切断幅が50mmより狭い場合は、切断幅の調整をスペーサにて行ってください。
  - ◎ ブレードは湿式を使用するため、注水が必要です。ブレードに接するスペーサは溝ありのものを使用し、注水できるようにしてください。
  - ◎ 50mmより狭い幅で切断を行うときは、ブレード受けからの注水を止める必要があります。ブレード受けに、Oリング P-65を取付けてください。

## 【4】取付方法

準備するもの

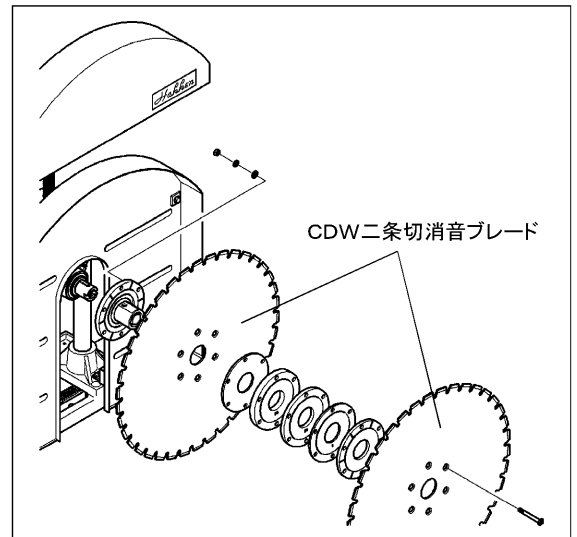
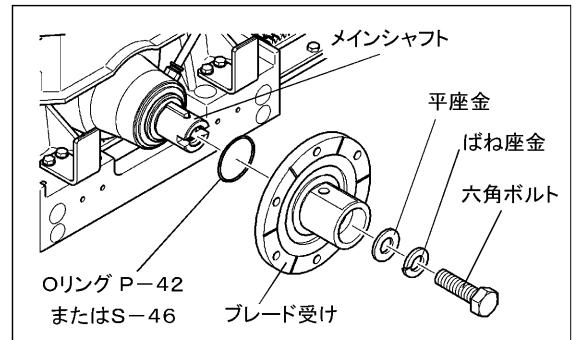
- ラチェットレンチ 24mm
- 六角棒レンチ 3mm
- スパナ 13mm
- ⊕ ドライバー

- 1) 既存のブレード受けと六角穴付止ねじM6×8または、M8×8を六角棒レンチで取りはずしてください。
- 2) ウォールカッターのメインシャフトに、Oリング P-42またはS-46とブレード受けを取付けてください。

### ⚠ 注意

水もれ防止のため、メインシャフトにOリングP-42またはS-46を取付けてください。

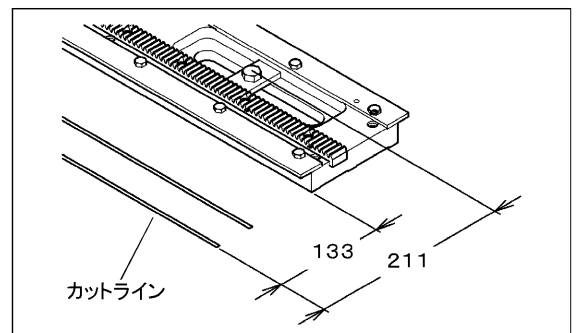
- 2) CDW二条切消音ブレード・スペーサを皿ボルト・ばね座金・平座金・六角ナットで固定してください。



## 【5】アンカー施工位置

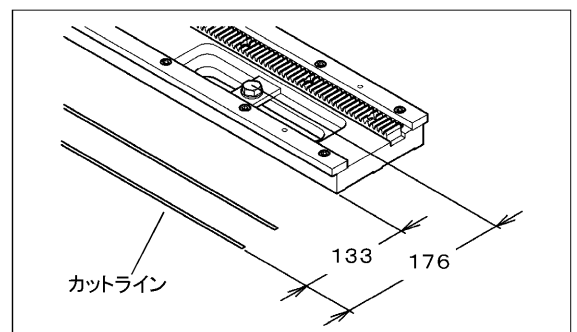
◎ CDW-30RE・CDW-26RE・CHW-30Rの場合

アンカーは、カットライン（ダイヤモンドブレード外側）から211mmの位置に施工してください。  
トラックレールは、トラックレール側面にスケールを当て、カットライン（ダイヤモンドブレード外側）までが133mmになるように、位置を調整してください。



◎ CDW-40AE・CHW-50Aの場合

アンカーは、カットライン（ダイヤモンドブレード外側）から176mmの位置に施工してください。  
トラックレールは、トラックレール側面にスケールを当て、カットライン（ダイヤモンドブレード外側）までが133mmになるように、位置を調整してください。



## [6] 切断幅によるスペーサの取付方法例

### ⚠ 注意

- 溝ありスペーサは、溝のある面がダイヤモンドブレードに接触するように取付けてください。
- 50mm切断の場合は、リングP-65（太さ約6mm、直径約70mm）を取外してください。リングP-65が付いていると、ダイヤモンドブレードへの注水ができなくなります。

